

令和3・4年度 複合構造委員会 第5回幹事会 議事録

日 時：2022年（令和4年）1月27日（木）14:00～17:10

場 所：土木学会 A会議室+Zoom

出席者：松本委員長，牧副委員長，齋藤（隆）幹事長，大久保幹事，~~大山幹事~~，川端幹事，
北根幹事，~~斉藤（成）幹事~~，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，内藤幹事，中村幹事，
仁平幹事，橋本幹事，皆田幹事，山本幹事，岡崎事務局

配布資料：

- 幹5-0 令和3・4年度複合構造委員会第5回幹事会議事次第
- 幹5-1 令和3・4年度複合構造委員会第4回幹事会議事録（案）
- 幹5-2 令和3・4年度複合構造委員会第2回委員会議事録（案）
- 幹5-3 令和3年度委員会予算執行状況
- 幹5-4-1 令和4年度全国大会研究討論会企画募集について
- 幹5-4-2 令和4年度全国大会開催に伴う研究討論会企画募集
- 幹5-4-3 全国大会研究討論会実施記録
- 幹5-4-4 令和3年度全国大会開催に伴う研究討論会企画
- 幹5-5 令和3年度功績賞候補者推薦書および添付資料
- 幹5-6-1 第9回FRPシンポジウムの開催について
- 幹5-6-2 第9回FRPシンポジウム広告原稿(案)
- 幹5-6-3 第8回FRP行事報告書
- 幹5-6-4 第8回FRP行事報告書（次回以降）
- 幹5-6-5 複合特集号行事計画書
- 幹5-6-6 複合特集号掲載料の件
- 幹5-7 土木学会論文集A1特集号：複合構造
- 幹5-8 複合構造の継続教育
- 幹5-9 出版関連報告
- 幹5-10 新規小委員会の設置に関して
- 幹5-11 ~~H101 複合構造標準示方書小委員会~~
- 幹5-12 ~~H108 土木構造物の300年暴露プロジェクト小委員会~~
- 幹5-13 H215 合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 幹5-14 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 幹5-15 ~~H218 FRP複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会~~
- 幹5-16 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 幹5-17 第6回幹事会の開催場所等
- 幹5-18-1 複合構造レポートの通読メンバー
- 幹5-18-2 複合構造レポートの通読（H216）

議事内容：

1. 委員長挨拶

松本委員長より、挨拶がなされた。

2. 令和 3・4 年度複合構造委員会第 4 回幹事会議事録(案)の確認 (資料 幹 5-1)

中村幹事より、資料に基づき、説明があり、修正なしで承認された。

3. 令和 3・4 年度複合構造委員会第 2 回委員会議事録(案)の確認 (資料 幹 5-2)

仁平幹事より、資料に基づき、説明があり、以下の修正を行うことで承認された。

- ・ 5. (2)について、第 4 回委員会を第 1 回委員会に修正する。

4. 令和 3 年度委員会予算執行状況 (資料 幹 5-3)

齋藤幹事長より、資料に基づき令和 3 年度委員会予算執行状況の説明があった。

- ・ 予算枠については柔軟に対応するため、積極的に予算の執行を検討いただきたい旨の説明があった。

5. 令和 4 年度全国大会・研究討論会企画募集について (資料 幹 5-4-1～幹 5-4-4)

齋藤幹事長より、資料に基づき、令和 4 年度全国大会・研究討論会の企画募集について説明があった。

- ・ 全国大会は 9/12～16、京都大学吉田キャンパスで開催される。研究討論会について、9/12～13 (月～火曜) はオンライン形式、9/14 (水曜) は京都国際会館にて対面形式で実施予定であり、企画案の〆切が 3/10 である。
- ・ 研究討論会は H108 研究小委員会が担当することとし、企画案を幹事団でメール審議した上で 3/10 までに提出することとなった。

6. 土木学会功績賞の推薦について (資料 幹 5-5)

齋藤幹事長より、資料に基づき、土木学会功績賞の推薦の説明があった。

- ・ 功績賞として、上田顧問の推薦書を作成し、土木学会に提出したことが報告された。

7. 第 9 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウムについて (資料 幹 5-6-1～幹 5-6-6)

仁平幹事より、資料に基づき、第 9 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウムについて説明があった。

- ・ 開催方法について議論している段階である。R4/11/1～2 を予定している。講演数 20～30 件、参加者数 60～90 人程度を想定しており、対面式 (四ツ谷) とオンライン形式のハイブリッド開催を予定している。トラブル回避のため、副座長が四ツ谷に集合する形を想定している。
- ・ イベントとして、宮里先生の特別講演を予定している。また展示会では、ハイブリッド形式を前提としているため、各社 5 分程度の紹介を実施することも想定する。
- ・ 従来までは 8 ページを標準としていたが、今回から最低 4 ページ以上という旨を追記した。上限は設けない。
- ・ シンポジウムへの参加を促すため、正会員 6000 円、後援団体会員 6000 円、非会員 8000 円、学生 3000 円とした。

岡崎事務局より、掲載料や J-Stage アップロード費用も行事費に含まれることとなった。予算の支出に関して事務手続きが変更されること、本件により委員会活動そのものに変更が生じるものではないこと、が周知された。

- ・特集号の論文掲載料が 3 万円になるので、次回以降の行事報告書の収支の赤字分は減ることになると想定される。

8. 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造（資料 幹 5-7）

櫻庭幹事より、資料に基づき、H005 編集小委員会の状況について報告があった。

- ・特集号に関して、6 編が投稿された。査読が完了しており、2/3 に編集委員会で採否を審議予定である。
- ・田中賞への推薦に関して、スケジュールに関しては問題ないことを確認した。ただし、編集小委員会の体制期間を考慮すると、直近のシンポジウムを対象（単年度）にすることで承認された。
- ・まずは依頼があった田中賞を対象とする（吉田賞は含めない）こととし、小委員会で詳細を詰めた後に次回幹事会にて議論することとする。

9. 複合構造の継続教育（資料 幹 5-8）

中村幹事より、資料に基づき、H006 複合構造の継続教育小委員会の活動報告があった。

- ・複合構造セミナーの開催報告がなされた。参加者数は会場 16 名、Youtube 視聴 234 名であった。
- ・セミナーWG について、講義形式セミナーを開催予定であり、講義内容について 2/14 に検討予定である。
- ・e-ラーニングについて、複合構造の紹介 HP を作成中であり、2～3 月に作成完了予定である。

10. 出版関係報告（資料 幹 5-9）

櫻庭幹事より、資料に基づき出版在庫について、報告があった。

- ・H215 について、出版事業課から出版承認の連絡があった旨の報告がなされた。
- ・絶版図書について、複合構造シリーズ 07 は残部があれば、橋建協で引き取るようになっていたと思われるので、出版委員会に再度確認することとなった。

11. 新規小委員会の設置に関して（資料 幹 5-10）

齋藤幹事長より、資料に基づき、新規小委員会の設置について報告があった。

12. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会

齋藤幹事より、報告事項が無い旨、メールで事前連絡があった。

(2) H108 土木構造物の 300 年暴露プロジェクト小委員会

大久保幹事より、報告があった。

- ・暴露試験場見学での旅費で予算の使用を予定している。2 月末～3 月に土木研究所朝霧を想定している。

- (3) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会（資料 幹 5-13）
川端幹事より、資料に基づき、報告があった。
・現在、報告書を通読中であり、2月末に報告書が完成するよう作業を進めていることが報告された。
- (4) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会（資料 幹 5-14）
仁平幹事より、資料に基づき、報告があった。
・土木学会論文集の報告書の提出、講習会開催に向けて作業を進めている。
- (5) H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
橋本幹事より、次回の小委員会を2022年3月中で日程調整中である旨、メールで事前連絡があった。
- (6) H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会（資料 幹 5-16）
川端幹事より、資料に基づき、報告があった。
・順調に進んでいること、また2月末に全体委員会を開催予定であることが報告された。
- (7) その他（資料 幹 5-18-1～幹 5-18-2）
・齋藤幹事長より、次回の通読について、山本幹事（取りまとめ）、仁平幹事、橋本幹事または櫻庭幹事、を予定している旨の連絡があった。
・H219について、報告書を提出済みである。6月に委員会報告を予定している。
13. 第6回幹事会の開催場所等について（資料 幹 5-17）
齋藤幹事長より、資料に基づき、説明があった。
・コロナの影響もあるが、3/18～19に山口県での対面式の開催も予定している。コロナの状況も考慮し、計画を進めることとする。
14. その他
・特になし

以上
(記録：川端)